

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [45052] *EWSR1* (22q12転座解析)

受託開始日

- 平成23年10月20日(木)

EWSR1 (22q12転座解析)

ユーイング肉腫(Ewing's sarcoma;EWS)は、1921年にEwingによって報告された悪性度の高い小円形細胞肉腫です。20歳未満の若年、特に幼児や学童に多く発生する未分化型の骨悪性腫瘍で、骨盤、大腿骨、上腕骨、腔骨の順で好発し、進行が早く原発性骨腫瘍の約7%を占めるといわれています。

主要な初期症状は疼痛と腫張で、発熱や白血球数の増加が認められ、骨髄炎との区別が困難なことが多いとされます。診断が遅延すると骨肉に腫瘍が進展し、骨全体に病変が広がるがあるとされます。

EWSの癌化の分子学的メカニズムは不明な点が多く、神経源性という説もありますが、はっきりしたことは分かっていません。しかし遺伝子学的要因が関与していることは明らかとなっています。

EWSの症例の約85%にEWS遺伝子とFLI1遺伝子(11q24)によるt[11;22]の転座が認められ、他にもERG(21q22)やETV1(7p22)、FEV(2q33)、ETV4(17q12)などの転座が報告されています。

本検査はEWS遺伝子の分断をFISH法により検出するものです。転座相手の遺伝子座に関わらず迅速に解析することが可能なため、EWSの早期診断・早期治療に大変有用な情報をもたらします。

検査要項

項目コード	45052
検査項目名	EWSR1 (22q12転座解析)
検体量	ヘパリン加血液 3.0mL 骨髄液 0.5mL 組織 5mm角
保存方法	冷室温(4~20℃)
検査方法	FISH法
所要日数	3~7日
検査実施料	2600点+400点([D006-5] 染色体検査)
判断料	125点(血液学的検査判断料)
定価	30,000円
備考	受付曜日:月~金曜日(休祭日とその前日は不可) 骨髄液は、専用保存液入り容器(容器番号22)にてご提出下さい。
主な対象疾患	Ewing肉腫、PNET (Primitive Neuroectodermal Tumor)

参考文献

Zucman-Rossij, et al : PNAS 95(20), 11786~11791, 1998.